

野菜の展望

1月1日の能登半島地震により、石川県は能登を中心に甚大な被害が発生しました。県内の産地も被害を受け、今後の出荷が危ぶまれている品目もあります。さらに厳寒期となり、今月の野菜は寒波の影響により露地物・施設物ともに大きな影響を受けると予想されます。冬の寒さは続くものの、2月3日は「立春」で暦の上では春となり、春野菜の売場が徐々に拡大して行くと思われませんが、鍋商材の需要もまだ多いものと思われれます。

根菜類の大根は千葉産を中心に九州地方からの入荷で、千葉産はトンネル作へと切替わります。人参は愛知産中心の入荷で、他に九州・関東産の入荷です。愛知産は豊作傾向で太物中心の入荷となる見込みです。蓮根は石川産中心に茨城産の入荷となります。石川産は積雪が収穫作業に影響する時期となるため、状況によっては出荷量が不安定となりますが、前年に比べ残量は多い見込みです。甘藷は石川主体に茨城産の出回りで、石川産は下級品の発生が多いものの、順調な入荷となる見込みです。

果菜類では胡瓜が高知・愛知・群馬産の入荷で、上旬は若干少ないものの、中旬にやや回復し、その後下旬より減少傾向とみられます。茄子は高知・愛知産、長茄子は福岡・熊本産の安定した入荷が見込まれます。南瓜はメキシコ産からニュージーランド産へと切り替わりますが、為替の影響により、入荷・価格ともにやや不安定となることが予想されております。トマトは愛知・岐阜・熊本産の入荷で、愛知産のファーストトマトは増量が見込まれます。ピーマンは高知・鹿児島産の入荷で中下旬に減少することが予想されます。豆類は九州・四国・東海産地を中心にインゲン・砂糖豌豆・スナック豌豆・キヌサヤ・そら豆等の入荷があります。

葉茎菜類の白菜は茨城・兵庫産が中心の入荷となります。茨城産については暖秋・暖冬の影響から、平年より終了は早い見込みです。キャベツは愛知産中心に千葉産の入荷です。葱は束物が石川・大分から、5kgバラ物は埼玉・群馬・千葉からの入荷で、数量は前年並みとなります。ほうれん草は石川・静岡・群馬・福岡産中心に出回ります。ブロッコリーは九州産主体に愛知、高知産の入荷です。レタスは兵庫・静岡・九州地方からの入荷で、各産地ともに今後の気温低下に左右される場面もありますが、ほぼ平年並みの入荷を見込んでおります。

菌茸類の生椎茸は、徳島・富山・兵庫・長野・新潟産等で順調な入荷見込みです。石川産菌床物は地震の被害を受け、現在のところ入荷見通しがたたない状況となっています。冬期限定の原木椎茸「のと115」については火・木・土曜日販売の予定ですが、ごく少量の長野県産のキノコ類も今回の地震で培養瓶が倒れる等の被害が出ており、今後の入荷に影響がありそうです。なめこ・えのき茸は長野・石川産の入荷です。しめじ類は長野県系統物と企業物中心となります。

土物類の馬鈴薯は北海道産の貯蔵物と鹿児島産の新物が入荷する予定ですが、北海道産は太物が少ないものの、終了期まで順調な入荷を見込んでいます。鹿児島産は平年並みとみられます。単価は、今年度は平年並みの単価推移を見込んでいます。玉葱は北海道産の貯蔵物主力の入荷です。昨夏の高温の影響により数量少なく価格は堅調推移と見込んでいます。静岡県産は平年に比べ入荷は少ない予想です。

2月は節分やバレンタインデーなど多彩なイベントがありますので、各種企画立案の上、販売拡大にご協力をお願い申し上げます。

《野菜第二部部長 杉本智則》

果実の展望

今月はまだまだ寒い日が続き、春はまだ遠いようです。

みかんは長崎・静岡・徳島産の入荷があり、長崎・徳島産は2L・Lサイズ中心の入荷となります。静岡産は青島の入荷です。3L中心で、全体では前年の7割程度の出荷量となる予想です。徳島産の貯蔵物は十万温州を中心として上旬からの入荷が見込まれます。

中晩柑類は本格的な出荷となり、伊予柑・八朔・デコポン・ポンカン・清見・せとか・甘夏等が愛媛・和歌山・熊本・佐賀・鹿児島・長崎等の各産地より出揃ってきます。全体的に品質は良好で食べやすい仕上がりとなっています。

伊予柑は愛媛産主力の出回りで、玉流れは2L中心です。八朔は和歌山産主体に週2~3回の販売予定で、Lサイズを中心とし入荷量は前年並みと見られます。デコポンは鹿児島・熊本・佐賀を中心に福岡・和歌山・愛媛産の入荷となります。各産地の出荷量は前年並で、20玉サイズ中心の若干の大玉傾向と予想されます。

メロンについては静岡中心に高知・熊本産の入荷となります。各産地ともに前年よりやや少ない出荷量となる予想です。

莓は愛知・九州の各産地からさがほのか・紅ほっぺ・あまおう・章姫・ゆめのかといった品種が出回り、上旬より二番果の増量が見込まれ、順調な入荷が見込まれます。

りんごは青森産のサンふじ中心に王林・ジョナゴールド等の入荷があります。32・36玉中心の玉流れとなります。

キウイフルーツは愛媛県産中心に福岡産・和歌山産の入荷があります。

輸入果実は、バナナでフィリピン産・南米産ともに安定した入荷です。オレンジはカリフォルニア産ネーブル種の入荷で72玉・88玉中心の玉流れとなります。価格は高値で推移。グレープフルーツはトルコ産中心の販売となりますが、入荷が不安定です。イスラエル産・メキシコ産・アメリカ産も取り扱います。レモンはカリフォルニア産中心の販売ですが、高値につき、割安なトルコ産の入荷もあります。パイナップルについてはゴールデン種・スィーティオ種ともに安定した入荷となります。トロピカルはメキシコ産ハネジューメロン・チリ産レッドグローブ・メキシコ産アボカドを中心に南半球の商材が増加してきます。乾燥果実では、甘栗・干芋・干柿等の順調な入荷が見込まれます。今月も何卒宜しくお願い申し上げます。

《果実部部長 荒木 智》